

腎臓内科(選択)

研修科	腎臓内科(選択)	
責任者	教授	有馬 秀二
指導医数	5	名
研修期間	4	週間 ~ 24 週間
受入可能人数	4	名
到達目標	<p>1 医師の社会的使命を認識し、医師としての基本的価値観を身につける。</p> <p>2 腎疾患・高血圧患者の診療を实践できる基本的診療能力(知識、技能、態度)を身につける。</p> <p>3. (いずれも電解質異常などを介して全身多臓器に影響を及ぼすことから、)疾患・臓器単位にとどまらない総合内科的な病態評価能力を身につける。</p> <p>4. 倫理観・責任感・使命感をもち、安全な医療が実践できる。</p> <p>5. 常に自己の向上に努めることができる。</p>	
行動目標	<p><病棟診療></p> <p>1. 各疾患の診断に必要な病歴の聴取ならびに理学的診察が実施できる。</p> <p>2. 診断に必要な検査計画を立て、確定診断を下すことができる。</p> <p>3. 下記の諸検査の結果を的確に解釈することができる。</p> <p>①尿検査 ②末梢血検査、動脈血液ガス分析 ③内分泌学的検査(血漿レニン活性、血中アルドステロン濃度など) ④病理組織検査(腎、副腎など) ⑤画像診断(X-P、超音波、CT、MRI、腎血管撮影、腎シンチグラフィなど) ⑥生理学的検査(心電図、PWV、24時間血圧測定、腎・副腎静脈サンプリングなど)</p> <p>4. 一般的な治療法・補液管理および下記治療法の適応を説明し、かつ、実施することができる。 降圧薬、インスリン、副腎皮質ステロイド、免疫抑制薬などを用いた薬物治療、血液浄化療法(血液透析、腹膜透析、血漿交換)など。</p> <p>5. 二次性高血圧において外科的治療の適応を判断することができる。</p> <p><一般外来診療> コンサルテーション可能な状況下で、病態の安定した腎臓病患者および高血圧患者の継続診療ができる。</p> <p><初期救急対応> コンサルテーション可能な状況下で、高血圧緊急症および緊急性の高い病態を有する腎臓病患者の診療ができる。</p>	

<p>方略 (LS)</p>	<p>下記の方略をとることで、入院患者の一般的・全身的な診療とケア及び一般診療で頻繁に関わる症候や疾患に幅広く対応できるようにする。</p> <p>1)病棟:指導医の監督下で、6-7名の入院患者の受け持ち医として診療にあたる。また、指導医とともに適時に日当直を行い、緊急時の対応を経験する。</p> <p>2)外来:指導医の補助医として外来診療を行い、幅広い症例を経験しながら基本的な診療法・診断法などを習得する。</p> <p>3)カンファレンス等 各種カンファレンス、抄読会、回診に参加し、積極的に意見を述べる。</p> <p><経験すべき症候> 発疹、発熱、呼吸困難、吐気・嘔吐、排尿障害、蛋白尿・血尿、浮腫、体重増加、霞視</p> <p><経験すべき疾患・病態> 高血圧、腎盂腎炎、腎不全、糖尿病、脂質異常症、ネフローゼ症候群、急性・慢性糸球体腎炎</p>
<p>評価 (EV)</p>	<p>研修医が到達目標を達成しているかどうかは、ローテーション終了時に、医師及び医師以外の医療職(看護師含む)が研修医評価票Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ(下記)を用いて評価し、評価票は研修管理委員会で保管する。</p> <p>上記評価の結果を踏まえて、少なくとも年2回、プログラム責任者・研修管理委員会委員が、研修医に対して形成的評価(フィードバック)を行う。</p> <p>2年間の研修終了時に、研修管理委員会において、研修医評価票Ⅰ、Ⅱ、Ⅲを勘案して作成される「臨床研修の目標の達成度判定票」を用いて、到達目標の達成状況について評価する。</p> <p>研修医評価票</p> <p>Ⅰ.「A. 医師としての基本的価値観(プロフェッショナリズム)」に関する評価</p> <p>A-1. 社会的使命と公衆衛生への寄与</p> <p>A-2. 利他的な態度</p> <p>A-3. 人間性の尊重</p> <p>A-4. 自らを高める姿勢</p> <p>Ⅱ.「B. 資質・能力」に関する評価</p> <p>B-1. 医学・医療における倫理性</p> <p>B-2. 医学知識と問題対応能力</p> <p>B-3. 診療技能と患者ケア</p> <p>B-4. コミュニケーション能力</p> <p>B-5. チーム医療の実践</p> <p>B-6. 医療の質と安全の管理</p> <p>B-7. 社会における医療の実践</p> <p>B-8. 科学的探究</p> <p>B-9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢</p> <p>Ⅲ.「C. 基本的診療業務」に関する評価</p> <p>C-1. 一般外来診療</p> <p>C-2. 病棟診療</p> <p>C-3. 初期救急対応</p>
<p>責任者からの一言</p>	<p>腎臓は水・電解質代謝や血圧調節などを介して生体の恒常性維持に重要な役割を演じる臓器であり、その異常は全身に広く影響を与えます。したがって、当科では腎臓という専門領域はもとより、循環動態や電解質管理などを含めた広範囲にわたる知識と判断力を兼ね備えたgeneralistを育てることを心掛けています。また、私達は研修医全員が医師としての自信と応用力を培うことのできる環境を提供したいと考えています。</p>